

北九州ポリ塩化ビフェニル廃棄物処理事業  
平成16年度 環境モニタリング調査結果

平成17年6月  
日本環境安全事業株式会社  
北九州事業所

< 周辺環境 >

要素	調査地点 <sup>(注1)</sup>	調査項目	単位	調査時期				年平均	頻度	(参考)環境基準値等
				6月	8月	11月	2月			
大気	敷地南西端	PCB	mg/m3	0.00000020	0.00000020	0.00000022	0.00000013	0.00000019	1年に4回	0.0005以下
		ダイオキシン類	pg-TEQ/m3	0.024	0.042	0.11	0.065	0.060		0.6以下
		ベンゼン	mg/m3	0.011	0.0014	0.0093	0.014	0.0089		0.012以下
水質 (海水)	雨水洞海湾出口沖	PCB	mg/L	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	1年に2回	検出されないこと <sup>(注2)</sup>
		ダイオキシン類	pg-TEQ/L	0.11	0.094	0.14	0.073	0.10		1以下
地下水	雨水敷地出口付近	PCB	mg/L				不検出		1年に1回	検出されないこと <sup>(注2)</sup>
		ダイオキシン類	pg-TEQ/L				0.069			1以下
土壌	雨水敷地出口付近	PCB	mg/L				不検出			検出されないこと <sup>(注2)</sup>
		ダイオキシン類	pg-TEQ/g				0.0045			1000以下
底質	雨水洞海湾出口沖	PCB	(成分)	mg/kg			不検出 <sup>(注3)</sup>			-
			(溶出)	mg/L			不検出 <sup>(注2)</sup>			-
		ダイオキシン類	pg-TEQ/g				0.80			150以下
生物 <sup>(注4)</sup>	雨水洞海湾出口沖	PCB	pg/g-wet				16,000			-
		ダイオキシン類	pg-TEQ/g-wet				0.98			-

(注1:調査地点は添付2に示す)

(注2:検出限界値は0.0005mg/L)

(注3:検出限界値は0.05mg/kg)

(注4:調査対象はムラサキイコガイ(検体の脂肪重量は0.65%))

# 北九州ポリ塩化ビフェニル廃棄物処理事業

平成16年度 環境モニタリング調査結果

平成17年6月

日本環境安全事業株式会社

北九州事業所

< 排出源 >

要素	調査地点 <sup>(注5)</sup>		調査項目	単位	調査時期				頻度	管理目標値
					12月	1月	2月	3月		
排気	洗浄排気1	G1	PCB	mg/m3N	0.0016	0.00054	0.00086	0.00089	1年に4回	0.01以下
			ダイオキシン類	ng-TEQ/m3N	/	/	0.027	/	1年に2回	0.1以下
	洗浄排気2	G2	PCB	mg/m3N	不検出 <sup>(注6)</sup>	不検出 <sup>(注6)</sup>	不検出 <sup>(注6)</sup>	不検出 <sup>(注6)</sup>	1年に4回	0.01以下
			ダイオキシン類	ng-TEQ/m3N	/	/	0.000032	/	1年に2回	0.1以下
	真空加熱分離系排気	G3	PCB	mg/m3N	不検出 <sup>(注6)</sup>	不検出 <sup>(注6)</sup>	不検出 <sup>(注6)</sup>	不検出 <sup>(注6)</sup>	1年に4回	0.01以下
			ダイオキシン類	ng-TEQ/m3N	/	/	0.0000095	/	1年に2回	0.1以下
			ベンゼン	mg/m3N	/	/	不検出 <sup>(注7)</sup>	/		50以下
	液処理系排気1	G4	PCB	mg/m3N	不検出 <sup>(注6)</sup>	不検出 <sup>(注6)</sup>	不検出 <sup>(注6)</sup>	不検出 <sup>(注6)</sup>	1年に4回	0.01以下
			ダイオキシン類	ng-TEQ/m3N	/	/	0.000030	/	1年に2回	0.1以下
			ベンゼン	mg/m3N	/	/	不検出 <sup>(注7)</sup>	/		50以下
	液処理系排気2	G5	PCB	mg/m3N	不検出 <sup>(注6)</sup>	不検出 <sup>(注6)</sup>	不検出 <sup>(注6)</sup>	不検出 <sup>(注6)</sup>	1年に4回	0.01以下
			ダイオキシン類	ng-TEQ/m3N	/	/	0.000019	/	1年に2回	0.1以下
			ベンゼン	mg/m3N	/	/	不検出 <sup>(注7)</sup>	/		50以下
	換気	G6	PCB	mg/m3N	不検出 <sup>(注6)</sup>	不検出 <sup>(注6)</sup>	不検出 <sup>(注6)</sup>	不検出 <sup>(注6)</sup>	1年に4回	0.01以下
ダイオキシン類			ng-TEQ/m3N	/	/	0.000037	/	1年に2回	0.1以下	
分析室排気	G7	PCB	mg/m3N	0.000020	不検出 <sup>(注6)</sup>	不検出 <sup>(注6)</sup>	不検出 <sup>(注6)</sup>	1年に4回	0.01以下	
		ダイオキシン類	ng-TEQ/m3N	/	/	0.0000057	/	1年に2回	0.1以下	

(注5:調査地点は添付2及び3に示す)

(注7:検出下限値は1mg/m3)

(注6:1~10塩素化物それぞれの検出下限値は0.02µg/m3)

# 北九州ポリ塩化ビフェニル廃棄物処理事業

平成16年度 環境モニタリング調査結果

平成17年6月

日本環境安全事業株式会社

北九州事業所

< 排出源 >

要素	調査地点 <sup>(注1)</sup>	調査項目	単位	調査時期				頻度	管理目標値
				12月	1月	2月	3月		
排水	下水排水渠	PCB	mg/L			不検出 <sup>(注8)</sup>		1年に2回	0.003以下
雨水	敷地出口	PCB	mg/L			不検出 <sup>(注8)</sup>		1年に1回	0.003以下
		ダイオキシン類	pg-TEQ/L			4.4			10以下
悪臭	敷地境界 (風上)	アセトアルデヒド	ppm			不検出 <sup>(注9)</sup>		1年に1回	0.05以下
		トルエン	ppm			不検出 <sup>(注10)</sup>			10以下
		キシレン	ppm			不検出 <sup>(注11)</sup>			1以下
	敷地境界 (風下)	アセトアルデヒド	ppm			不検出 <sup>(注9)</sup>			0.05以下
		トルエン	ppm			不検出 <sup>(注10)</sup>			10以下
		キシレン	ppm			不検出 <sup>(注11)</sup>			1以下
	真空加熱分離系排気	アセトアルデヒド	ppm			不検出 <sup>(注9)</sup>			0.05以下
		トルエン	ppm			不検出 <sup>(注10)</sup>			10以下
		キシレン	ppm			不検出 <sup>(注12)</sup>			1以下
騒音	敷地境界 (北)	騒音レベル	dB(A)			50(52)		1年に1回	70以下 (夜間65以下)
	(南)					53(51)			
	(東)					51(56)			
	(西)					53(54)			

(注8: 検出下限値は0.0005mg/L)

(注11: 検出下限値は0.1ppm)

(注9: 検出下限値は0.005ppm)

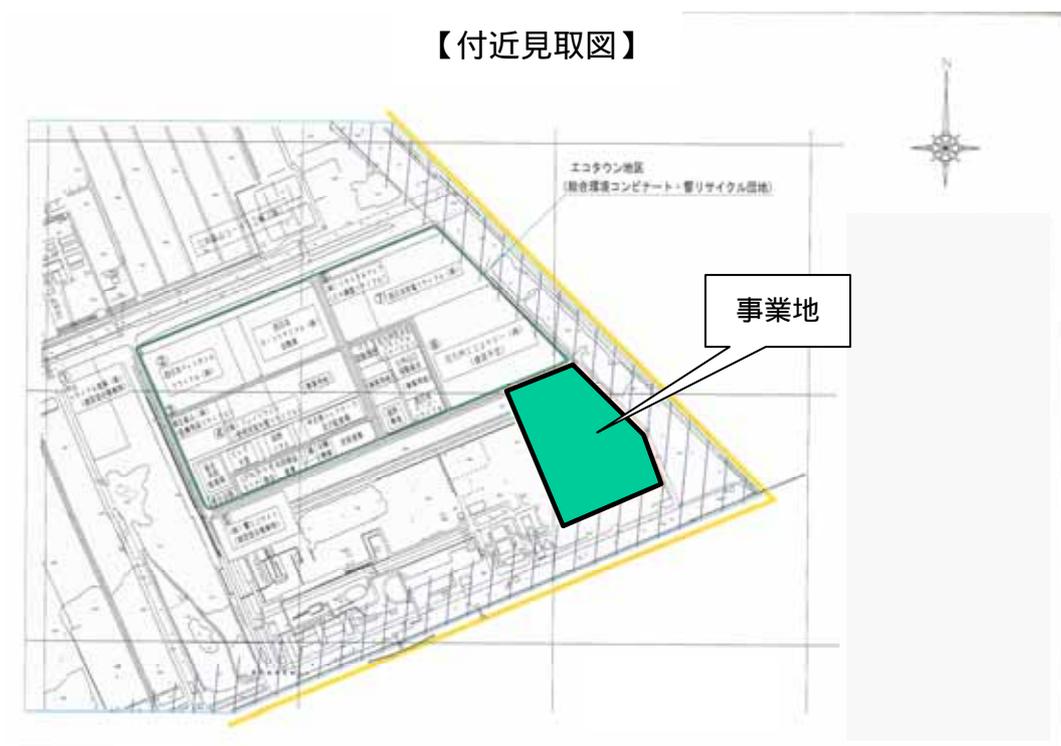
(注12: 検出下限値は0.5ppm)

(注10: 検出下限値は1ppm)

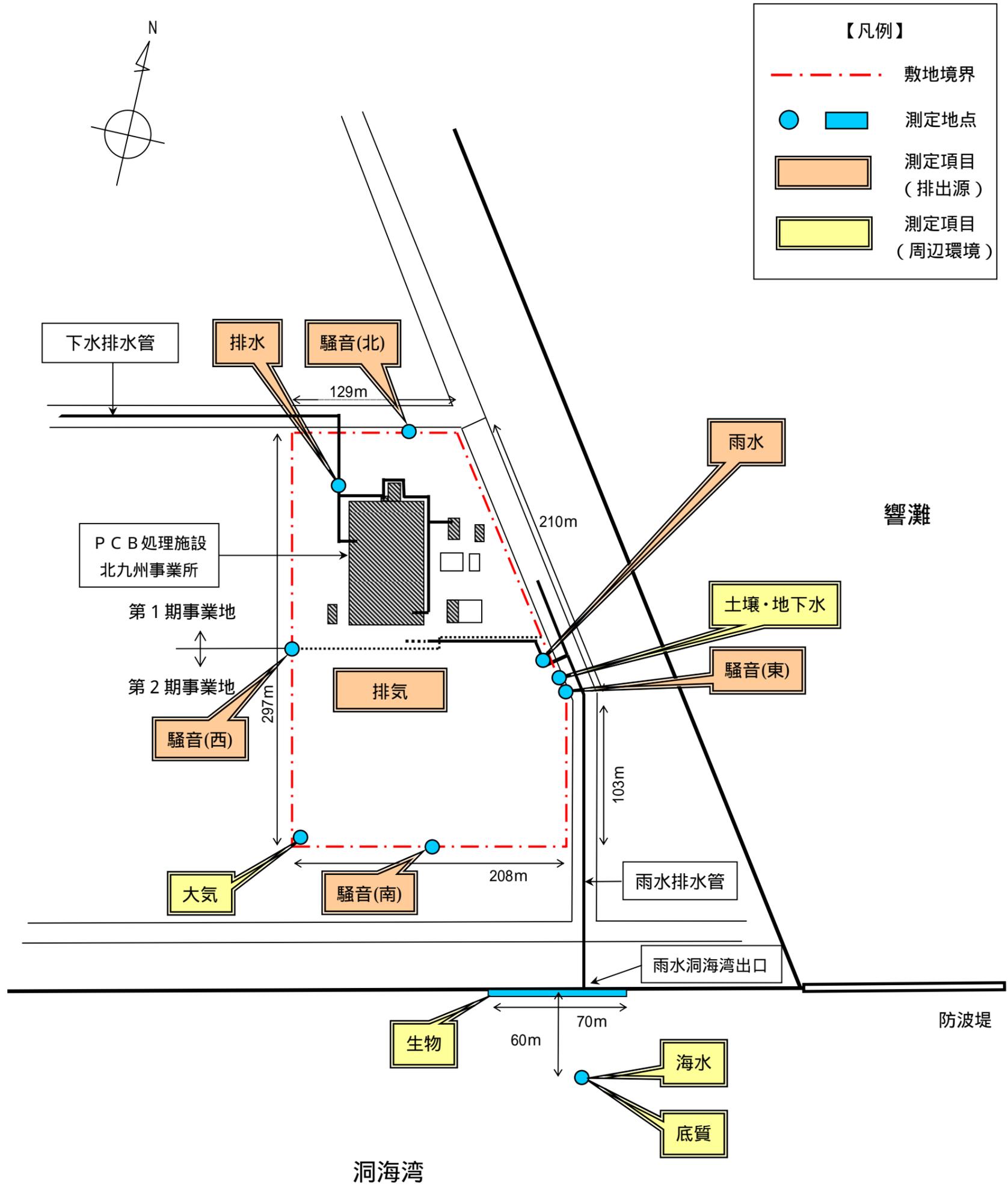
# 【事業地 位置図】



# 【付近見取図】



# 北九州ポリ塩化ビフェニル廃棄物処理施設 平成16年度 環境モニタリング調査地点図

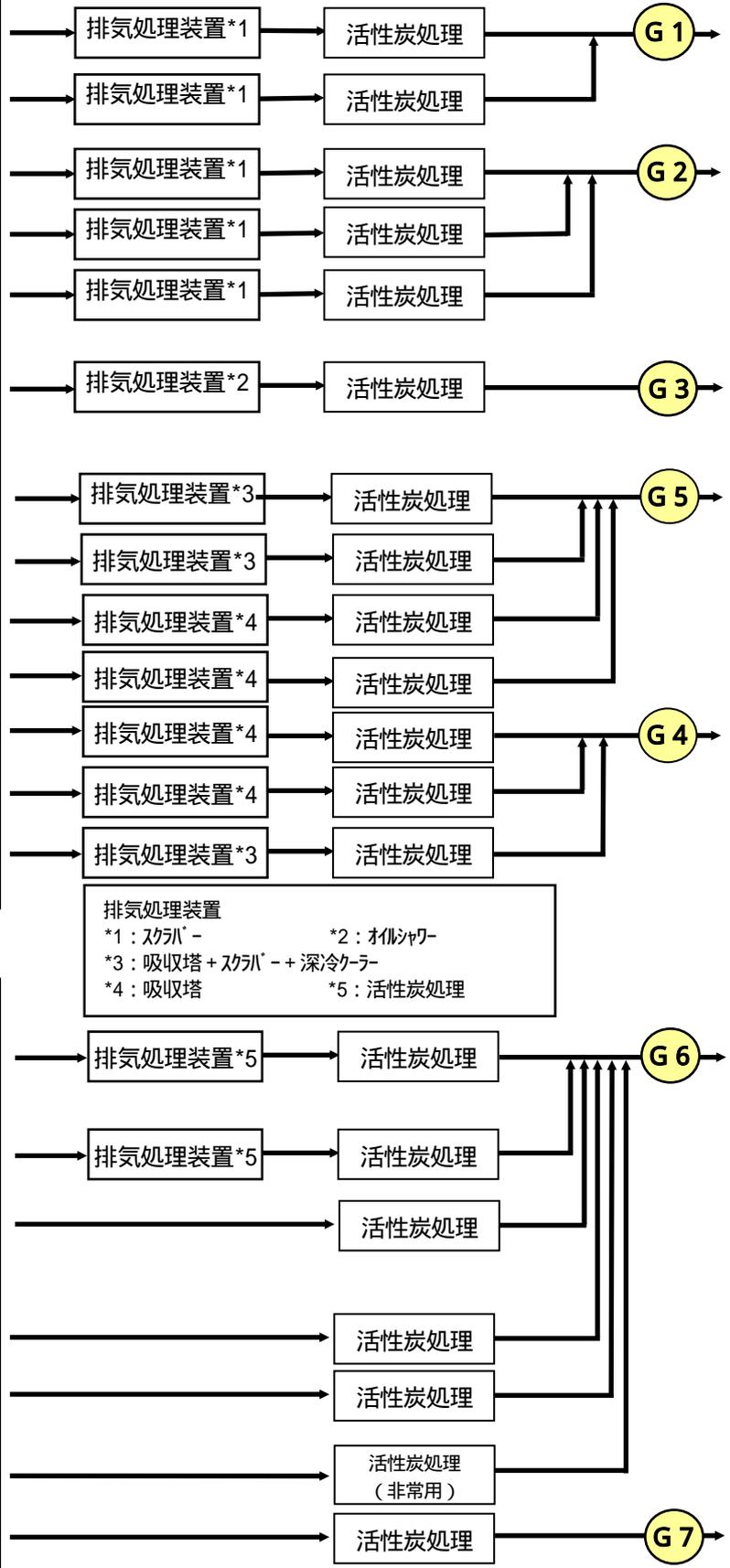
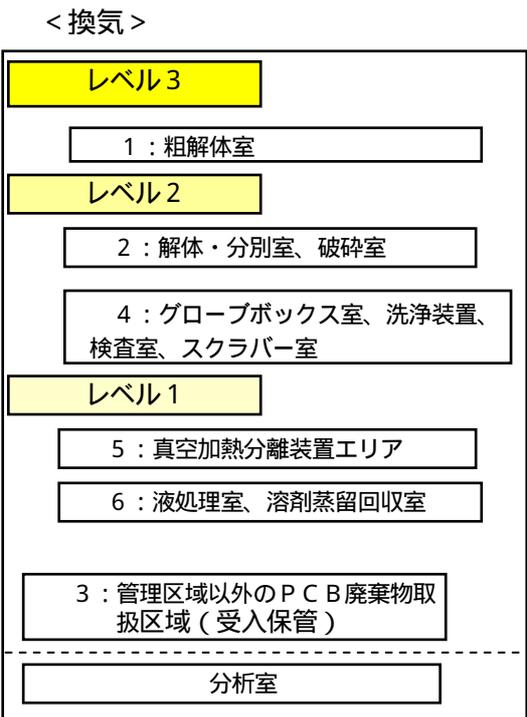
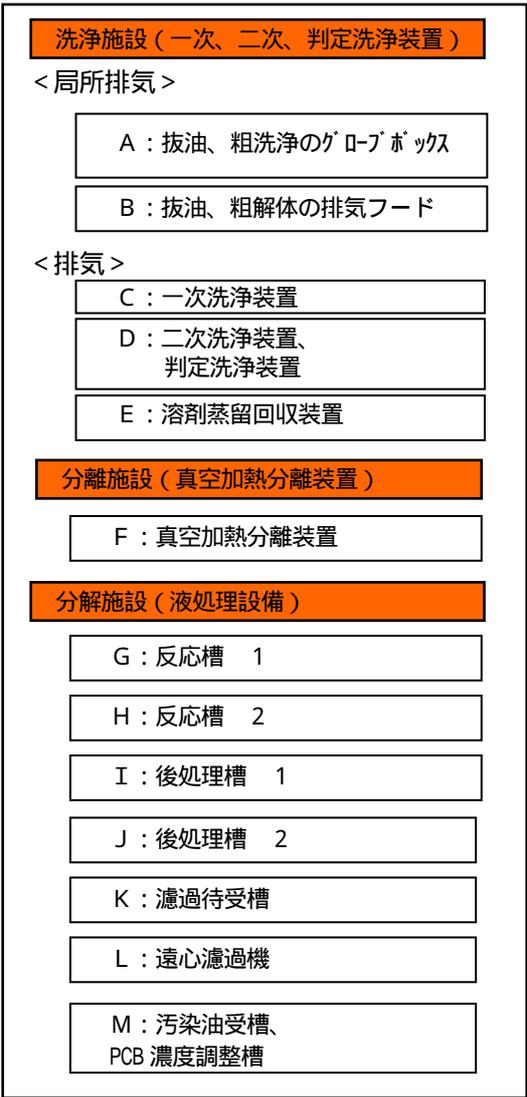


悪臭 (Odor)

悪臭は測定日当日の風上と風下でサンプリングします。

# 排気測定のスプリング箇所

● : サンプルポイント



排気処理装置  
 \*1 : スクラパー                      \*2 : オイルシャワー  
 \*3 : 吸収塔 + スクラパー + 深冷クーラー  
 \*4 : 吸収塔                              \*5 : 活性炭処理